

患者と医師に学ぶ肺高血症セミナー

2013年10月17日

患者と医療者が協働作業で創る 医療；「患者学」の視点から

慶應義塾大学看護医療学部

加藤 眞三

Keio University,

Faculty of Nursing and Medical Care

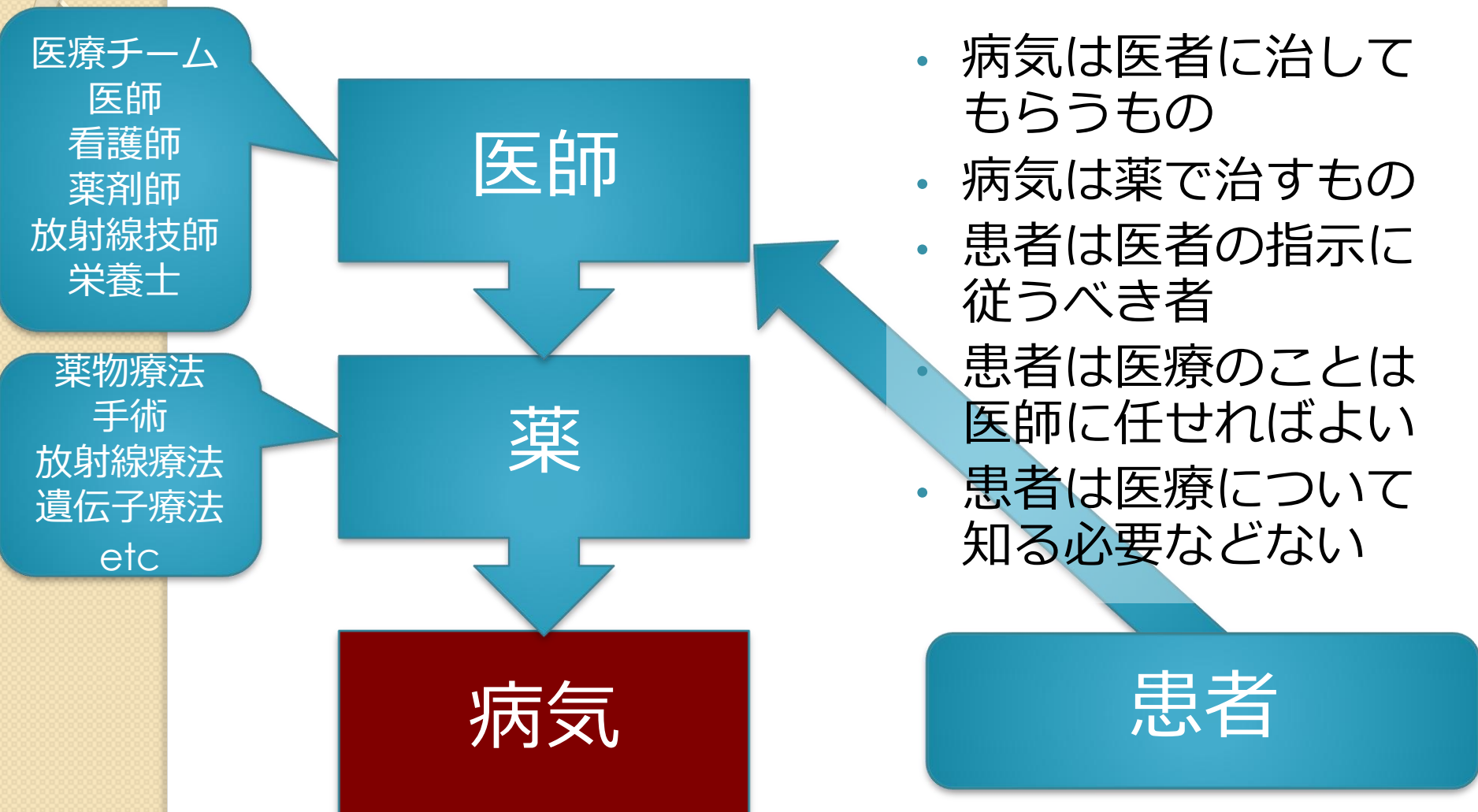
患者学とは

- 「患者学とは、患者と医療の関わり方に関する学問である」
- 医療者が患者から学ぶべきものとしての患者学
- 患者が病気を抱えていても、よりその人らしく、より良く生きるための患者学

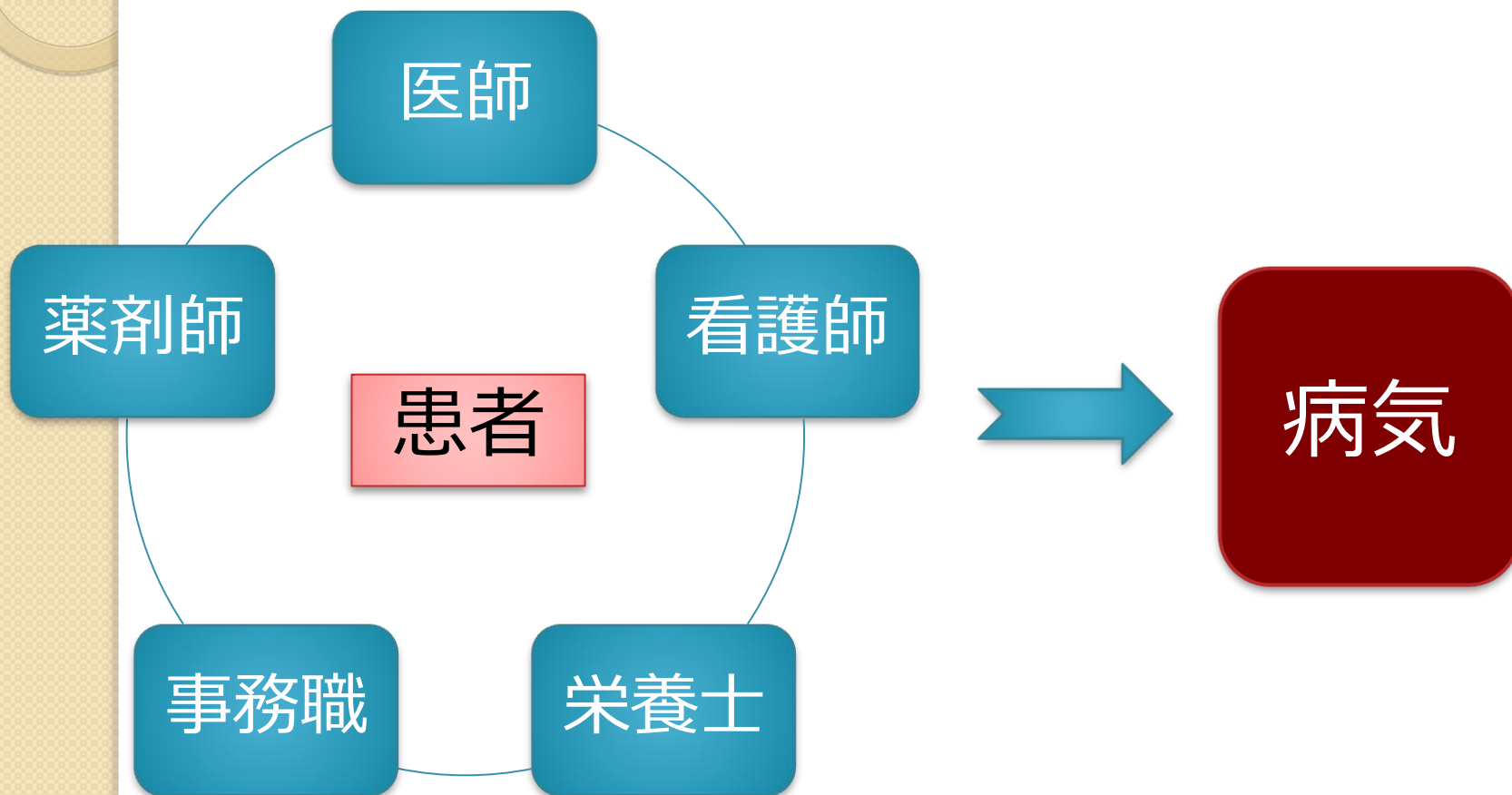
患者学のテーマ

- 患者は
 - 社会の中で、そして医療の中でどのような存在であり
 - 社会や医療者とどのように関わろうとしているのか
- 医療者は
 - 患者とどのような関係性を持つことが望まれているのか
 - どのようなチームを創り患者に関わっていけるのか

古典的な医療の図式

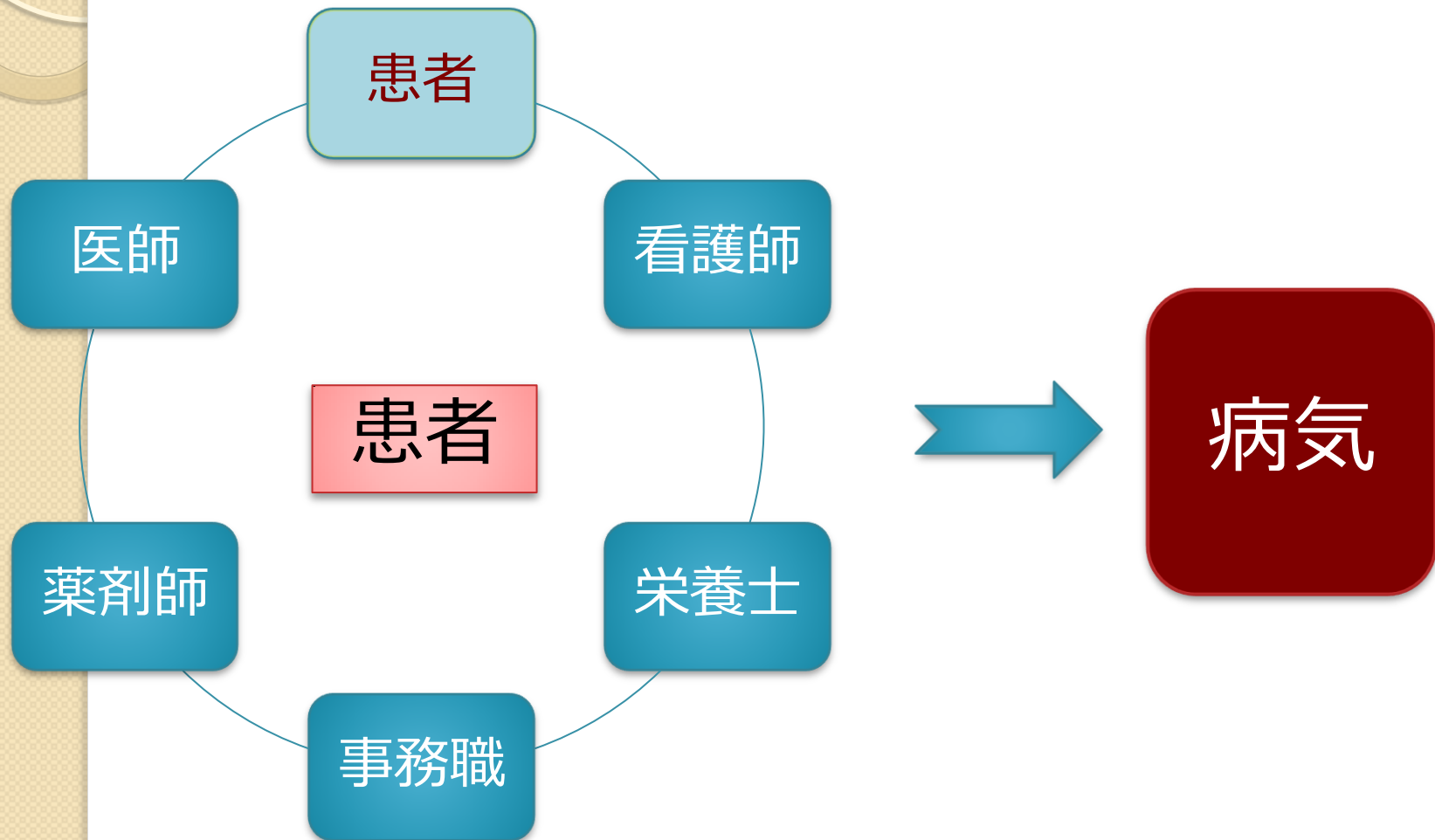


現在語られている医療の図式



医療者のチームワーク

患者学の目指す 新しい時代の医療の図式



飲酒問題に対するアプローチ 解決志向アプローチ (SFA)

1. 医学モデルに基づかない
 - 原因追求に基づき解決を考えるやり方ではない
 - 最初から解決を考える(原因とは関係のない解決も可)
 2. 解決を求めている本人がその専門家であると考ええる。
 - 本人の生活や生き方の中に解決の糸口がある
 - 絶えず変化があり、小さな変化が大きな変化につながる
 3. 医療者は解決を見つけるプロセスを援助する専門家
 - 「知らない」という姿勢で、好奇心を持って傾聴
 - 本人が解決に近づくのに役立つ質問をすることにより援助
- インスー・キム・バーグ、スコット・D・ミラー 飲酒問題とその解決 ソリューションフォーカスト・アプローチ、金剛出版 1992年

医療者と患者関係のモデル

(Szasz & Hollender, 1956より改変)

類型	能動—受容 activity- passivity	説明—協力 guidance- cooperation	協働作業 mutual- participation
ケース	昏睡状態 急性外傷 救急外来	治療方針のある程度決 まった疾病 肺炎、尿路結石、胃潰瘍、 慢性肝炎(治療前)、 治療可能な肝癌	自覚症状に乏しい慢 性疾患、生活習慣病 糖尿病、高血圧、 慢性肝炎(NR)、 肝硬変
医療行為	医療者は 一方的に医 療行為を行 う。 患者はされ るがまま。	医療者は患者に説明し、 同意を得た上で医療行為 を行う。 患者はある程度能動的 に医療に関わるが、医療 者の方針に逆らうことは 困難。	医療者と患者は、互 いに提供し共有した情 報を元に医療の方針 を交渉しあう。 合意した部分から医 療行為を行う。

説明と同意

合意の形成

スパイラル；魂の旅路のシンボル

危機を克服するスパイラルな学習のプロセス

